

入学者選考について

■入学者決定方法

開成中等教育学校に関しては注目が高く、塾による「開成中模試」なども頻りに宣伝されている状況があります。

中等教育学校の設置に際しては、受験競争の低年齢化を招かないよう十分留意する必要がありますが、今年行われる初めての入学者選考においては、相当の志願者が見込まれる状況があります。入学者の決定に際しては、教育委員会において十分議論された上で、最後に抽選を導入することとしていますが、注目される学校であるだけに、今後も入学者決定の状況を見守る必要があるでしょう。

【入学者決定までのスケジュール】

出願の受付	平成26年12月1日(月)~5日(金)
一次検査(適性検査)	平成27年1月14日(水)
二次検査(個人面接)	平成27年1月24日(土)
入学予定者の決定(公開抽選)	平成27年1月31日(土)

■編入生について

開成中等教育学校では、開校から3年間の間、高校段階から入学する生徒も募集しています。現在の中学3年生は、最初に開成中等教育学校を卒業する一期生となるそうです。去る9月14日に実施された中学3年生向けの説明会には、約400人の生徒・保護者・教職員が参加し、コズモサイエンス科の3年間の取り組みや教育課程、少人数授業、学校生活の様子などの説明を真剣に聞いていたようです。また、新入生向けの学校説明会同様、校舎見学も行われました。

今回の説明会に参加できなかった中学3年生・保護者の方たちのために、10月、11月の毎週木曜日には『学校見学ツアー』を実施するとのこと。せっかくの機会なので、参加してみたいかたがでしょうか。詳細は開成中等教育学校のホームページで知ることができます。

市立札幌開成中等教育学校のホームページアドレス

<http://210.130.252.203/sapporo-kaisei/>

宝本ひであき
オフィシャルサイト

<http://hidelog2.takaramoto.jp/>

…… ブログ更新中!!

札幌市政に関する皆さまのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

〒060-8611
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所17F
tel(011)211-3212 fax(011)218-5121

office 〒001-0021
札幌市北区北21条西2丁目1-14
tel(011)757-1119 fax(011)757-1129



毎週金曜日に街頭にて市政報告を行っています。

場所 サンプラザ東側

a sapporo city council member hideaki takaramoto

札幌市議会議員

sapporo

宝本ひであき 市政だより

札幌市議会 民主党・市民連合 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所17F tel(011)211-3212 fax(011)218-5121



2015年4月開校!!

「市立札幌開成中等教育学校」

いよいよ来春開校を迎える、札幌市で初の中高一貫教育学校「市立札幌開成中等教育学校」は、生徒の個性を尊重し今までにない学びのスタイルや校種を超えた連携の推進など、これからの学校教育の新たな可能性を感じさせる学校となっております。今回は、今大変注目されている市立札幌開成中等教育学校についてお知らせいたします。



札幌開成中等教育学校が見据える「新時代の学校教育」

■学校教育目標…『わたし、アナタ、min-na そのすがたがうれしい』

これが開成中等教育学校の「学校教育目標」です。学校教育目標というと、例えば「～調和のとれた人間性豊かな生徒の育成～生きた知性をみがく、豊かな心情をつちかう、みがかれた主体性を育てる、ねばり強い実践力を育てる(市立北辰中学校)」というように、目標としてわかりやすいものが一般的だと思います。しかし、開成中等教育学校の目標は一度読んだだけではわからない。

この学校教育目標制定の趣旨については、「開成中等教育学校におけるすべての教育活動が、これまで慣れ親しんだ考え方と違うものと出会った時の驚きや戸惑いに正面から向き合い(わたし、アナタ、min-na)、調整や折り合いをつけていながら、自分と違う存在の意味を理解し受け入れて行く方向(そのすがたがうれしい)を目指していることを示した」と説明されています。

一般的に学校でも、あるいは実社会でも、「違うもの」や「違う考え」に対しては、アレルギー反応が出て排除しようとしてしまうことがないでしょうか？

それを開成中等教育学校では、ある意味当たり前に存在するものとして、積極的に受け入れて行くことを求めています。こうした「すがた」は、生徒だけに求めるものではなく、開成中等教育学校を取り巻く「大人のすがた」にも求められています。

これからの時代を見据えた新しい学校のコンセプトが、この学校教育目標にも表れています。

学校教育目標 わたし、アナタ、min-na そのすがたがうれしい

生徒のすがた 大人のすがた

自ら課題を発見し、生涯にわたって学び続ける力を大切にします。

自己を肯定し、多様な価値観を認め合う心の余裕を大切にします。

未知なるものに挑戦し、自ら道を切り拓く勇気を大切にします。

6年間を通した学びの連続性を生かして、課題探究的な学習に向き合う環境を整えます。

幅広い異年齢集団による学び合いを生かして、様々な文化と出会い交流できる環境を整えます。

6年間にわたる見守りを生かして、徐々に範囲を広げながら安心して挑戦できる環境を整えます。

「Think globally, act locally.～グローバルな視野をもって身近なことから行動しよう」

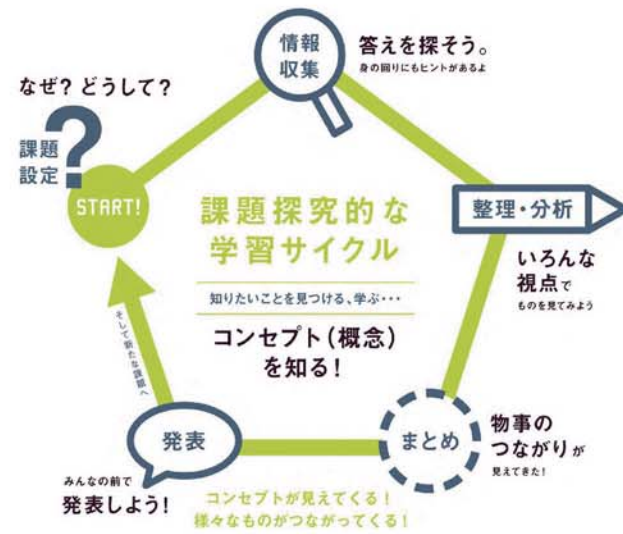
開成中等教育学校は自分で学ぶ力を身につけます

■知りたいことを見つける、学ぶ…課題探究的な学習サイクル

開成中等教育学校では、すべての教科でこの「課題探究的な学習」に取り組むとしています。

ところで「課題探究的な学習」って何でしょう？学校の授業というと、先生が教科書をもとに、黒板の前で説明をしているイメージがありますが、開成中等教育学校の授業は「生徒が自分で課題を探究する」スタイルとなるそうです。

知識を単に「知識」として覚えようとするのではなく、考えるツールとして身に付け、コンセプトとしてとらえようとする。まさにこれからの時代を生きるための力を養う学習スタイルと言えます。



■国際バカロレア(IB)…10の学習者像

開成中等教育学校では、「国際バカロレア(IB)」の教育プログラムを導入する予定です。「国際バカロレア」とは、多文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でより良い世界に貢献できる若者の育成を目的とした国際標準の教育プログラムです。

開成中等教育学校では、1～4年生全員に「MYP(※1)」を、5～6年生には選択により「日本語DP(※2)」を実施する予定です。

国際バカロレアの学びは、海外の大学への入学資格が得られるといったところが注目されますが、「10の学習者像」に表現されているような全人教育であることが最大の特色です。公立の中等教育学校で、IBプログラムを導入するのは、全国初の取り組みです。

コトバの解説

※1 MYP(Middle Years Programme ミドルイヤーズプログラム)…前期中等教育課程
※2 日本語DP(Diploma Programme ディプロマプログラム)…後期中等教育課程



■教科教室型の新校舎…グローバルな雰囲気作り

開成中等教育学校の校舎が、この7月に完成しました。札幌市では初めての「教科教室型」の校舎となっています。「教科教室型」の校舎とは、従来のホームルーム(学級)を基本とする校舎ではなく、教科ごとに専用教室として整備し、時間割に合わせて生徒が移動していく形態の校舎です。開成中等教育学校では、6年間の学びの連続性を活かして課題探究的な学習に取り組むため、教科教室型の校舎を採用しました。

教科ゾーンごとに色や黒板が違うなど特色ある校舎となっており、理科ゾーンの実験室は6室もあります。また、各ゾーンにはラウンジがあり、生徒用のロッカーが配置されています。生徒の私物はこのロッカーで自己管理することになります。

ゾーンや教室の標記も英語が多用されており、まさにグローバルな雰囲気を作っています。

■探究学習とICT環境…生徒一人一台にタブレット端末

開成中等教育学校では、生徒一人一台のタブレット端末の導入が計画されています。これは、課題探究的な学習を行うためのツールとして導入すること。開成中等教育学校は、IBプログラムを活用した課題探究的な学習モデルを研究するモデル校として、タブレット端末など学習におけるICT活用の可能性についても研究していくこととなります。

学校におけるICT環境の充実は、今後積極的に取り組むべき課題であり、この学校の取り組みはその点でも注目されます。

